

## 2003 年度 委員会活動成果報告

(2003 年 3 月 30 日作成)

委員会名	在宅ケア環境小委員会	主 査 名：中 祐一郎
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画本委員会	委員長名：服部 岑生
設 置 期 間	2000年4月 ~ 2004年3月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>高齢社会における環境整備は喫緊の課題であるが、2000年には介護保険制度が施行され、住宅改修サービスが提供されるようになった。本委員会では、在宅ケア環境としての住宅のあり方を明らかにすること、および在宅ケアシステムの一環としてどのように住宅改修を位置づけ、医療・保健・福祉等他分野と連携して住宅改修を行うか、その仕組みを検討することを目的として活動を行った。</p> <p>各年度活動計画 2000年度 - 介護保険導入後の動向の整理、2001年度 - 介護保険制度の進展状況と在宅ケア環境に対する評価、2002年度 - 異分野協働による住環境整備あり方について検討、2003年度 - 介護保険の評価のまとめ、報告書作成</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>主査 中祐一郎(名古屋女子大)                  幹事 橋本美芽(東京都立保健科学大学) 蓑輪裕子(聖徳大学短期大学部)                  委員 大原一興(横浜国立大学) 河添竜志郎(熊本住まいづくり研究所)                  窪田静(健和会補助器具センター) 古賀紀江(前橋工科大学)                  後藤義明(積水ハウス) 鈴木晃(国立保健医療科学院)                  田中正敏(福島学院短期大学) 榎木保匡(地域生活情報センター)                  野崎勉(愛知工業専門学校) 野村みどり(東京電気大学)                  三国政勝(千葉大学)</p>	
設置 WG (WG名:目的)	在宅ケア環境情報WG:国内外の在宅ケア環境のあり方に関する様々な情報、資料、文献等を収集し紹介する。小委員会の研究活動と連動しながら文献研究を進める。	
2003年度予算	円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2003年度委員会開催日 4/21、6/4、7/4、9/22、10/29、11/28、1/16、2/25、3/8 (合計9回、各回5~10名の参加) ケアマネ向け住宅改修研修の試行 6/25 および 7/23(東大和市・武蔵村山市)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 1 研究会の開催、報告書作成:介護保険下の住宅改修の現状と課題を明らかにし今後の方策を検討するために下記のテーマで研究会を開催した。関連各分野から多数の参加を得て議論を深め、課題整理および今後の方向性を確認できた。 介護保険法施行後の住宅改造の実状と課題 - ケアマネジャーの関わる現場から(2001/3/3)、介護保険制度と自治体の住宅改修補助制度(2002/2/22) 介護保険下における住宅改修システムの課題と展望」~地域にねざす高齢者の居住とケアを考える その3~(2004/3/8) 2 ケアマネジャー向け研修への協力および「東京都版 理由書の書き方」作成: 介護保険下の住宅改修では、ケアマネジャーの役割が重要であることから、都内の2地域(合計5回)におけるケアマネジャーの研修会に協力した。またその際にはアンケートやヒアリング等も行い、研修のあり方について検討を重ねた。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 介護保険以降の動向および在宅ケア環境の把握に関しては、関連する全国調査の分析、各委員の研究成果により、全般的な動向・課題および一部の地域の状況を把握できた。また異分野協働による住環境整備の仕組みは現在調査中で、継続的に情報収集および調査を進める。なお介護保険以降の住宅改修に関する具体的な提言には至らず、これに向けて引き続き精力的に研究活動を実施して行きたい。
その他評価すべき事項	鈴木晃委員が主任研究者である厚生労働科学研究(長寿科学総合研究事業)「ケアマネジャー向け住宅改修研修プログラムの開発」において、関連委員が研修用ビデオ作成および研究報告書のとりまとめに参画した。